

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成 17 年 7 月 7 日 (2005.7.7)

【公開番号】特開 2004-49519 (P2004-49519A)
【公開日】平成 16 年 2 月 19 日 (2004.2.19)
【年通号数】公開・登録公報 2004-007
【出願番号】特願 2002-210692 (P2002-210692)
【国際特許分類第 7 版】
A 6 3 F 5/04
【F I】
A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】
【提出日】平成 16 年 11 月 9 日 (2004.11.9)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

複数の図柄を付した複数のリールで構成される表示装置と、各リールの変動を開始させるためのスタートレバーと、各リールの変動を停止させるためのリール停止ボタンと、前記表示装置の変動表示領域で図柄を変動表示する変動表示ゲームを行う制御手段と、を備え、変動表示ゲームの結果によって遊技者に所定の遊技価値を付与する遊技機において、前記変動表示領域の所定領域に位置する図柄を隠蔽状態と開示状態とに切換可能な隠蔽開示手段と、

所定条件の成立によって前記隠蔽開示手段による状態を切換制御可能な切換制御手段と、を備え、

前記変動表示領域は、常態で各リールの図柄列のうち 3 個の図柄をそれぞれ開示状態とする通常表示領域と、変動表示する図柄の出現側に位置し、前記隠蔽開示手段によって図柄の開示状態を切換可能な特別表示領域と、から構成され、

前記切換制御手段は、前記隠蔽開示手段による前記特別表示領域の隠蔽状態を開示状態に切換えて変動表示領域を拡張することを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記隠蔽開示手段は、前記各リールの図柄列に対応して区分けした特別表示領域毎に状態切換を可能とし、

前記切換制御手段は、図柄の停止過程で特別な遊技価値を付与可能なリーチ表示状態となった場合に、未だ変動表示する図柄列の特別表示領域を開示状態に切換えることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 4
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正 3】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 5 】

【発明が解決しようとする課題】

このようなパチスロ機や球スロ機等の遊技機では、目押しという、変動する図柄を凝視し、変動のリズムに合わせてリール停止ボタンを操作して、思い通りの図柄で停止させる技術がある。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

しかし、目押しに不慣れな遊技者等もいる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

この発明は、隠蔽状態と開示状態とに切換可能な変動表示領域を設定して、遊技者が目押しを行いやすくすることを目的とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

【課題を解決するための手段】

第 1 の発明は、複数の図柄を付した複数のリールで構成される表示装置と、各リールの変動を開始させるためのスタートレバーと、各リールの変動を停止させるためのリール停止ボタンと、前記表示装置の変動表示領域で図柄を変動表示する変動表示ゲームを行う制御手段と、を備え、変動表示ゲームの結果によって遊技者に所定の遊技価値を付与する遊技機において、前記変動表示領域の所定領域に位置する図柄を隠蔽状態と開示状態とに切換可能な隠蔽開示手段と、所定条件の成立によって前記隠蔽開示手段による状態を切換制御可能な切換制御手段と、を備え、前記変動表示領域は、常態で前記リールの図柄列のうち 3 個の図柄を開示状態とする通常表示領域と、変動表示する図柄の出現側に位置し、前記隠蔽開示手段によって図柄の開示状態を切換可能な特別表示領域と、から構成され、前記切換制御手段は、前記隠蔽開示手段による前記特別表示領域の隠蔽状態を開示状態に切換えて変動表示領域を拡張する。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

第 2 の発明は、第 1 の発明において、前記隠蔽開示手段は、前記各リールの図柄列に対応して分けした特別表示領域毎に状態切換を可能とし、前記切換制御手段は、図柄の停止過程で特別な遊技価値を付与可能なリーチ表示状態となった場合に、未だ変動表示する

図柄列の特別表示領域を開示状態に切換える。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 16】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0018
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正17】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0019
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0019】
【発明の効果】

第1の発明では、変動表示する図柄の出現側に位置する特別表示領域の隠蔽状態を開示状態に切り替えて変動表示領域を拡張するので、遊技者は、図柄の出現側が視認しやすくなり、目押しを行いやすくなる。

【手続補正18】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0020
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0020】

第2の発明では、隠蔽開示手段は、各リールの図柄列に対応して区分けした特別表示領域毎に状態切り換えを可能とし、切り換え制御手段は、図柄の停止過程で特別な遊技価値を付与可能なリーチ表示状態となった場合に、未だ変動表示する図柄列の特別表示領域を開示状態に切り換えるので、大当たりを狙っての期待感を高めることができる。

【手続補正19】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0021
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正20】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0022
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正21】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0023
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正22】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0024
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正23】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0025
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正24】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0026
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正25】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0027
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正26】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0028
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正27】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0104
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0104】

図15～図17は本発明の第3の実施の形態を示す。これは、上段、下段の横ベットのラインの変動表示領域を隠蔽状態と開示状態とに切換可能な液晶シャッタ60、61（隠蔽開示手段）を設け、メダルのベット数に応じて、これらの変動表示領域を隠蔽状態から開示状態に切り換えるようにしたものである。

【手続補正28】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0105
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0105】

図16のように、ベット数が1枚のときは、中段の横ベットのラインの変動表示領域のみを開示状態にして、上段、下段の横ベットのラインの変動表示領域は隠蔽状態にする。

【手続補正29】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0106
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0106】

図17のように、ベット数が2枚のときは、中段および上段の横ベットのラインの変動表示領域を開示状態にして、下段の横ベットのラインの変動表示領域は隠蔽状態にする。

【手続補正30】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 0 7】

図 1 5 のように、ベット数が 3 枚のときは、上段、中段、下段の横ベットラインと斜めのベットラインの変動表示領域のすべてを開示状態にする。